

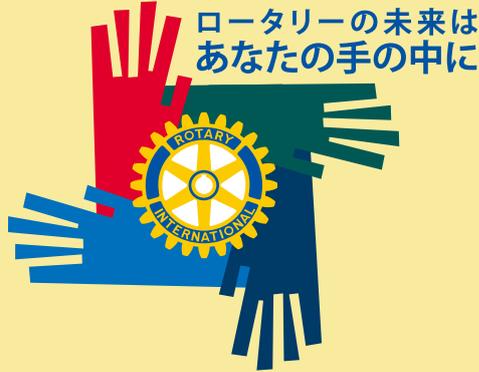


# 神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



ロータリーの未来は  
あなたの手に

2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- |           |        |           |        |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長      | 河野 明光  | ● 会長エレクト  | 横山 範夫  |
| ● 副会長     | 古川 陽太郎 | ● 副会長     | 石川 正三  |
| ● 幹事      | 山田 正憲  | ● 副幹事     | 飯田 泰之  |
| ● 会計      | 朝日 達夫  | ● 副会計     | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 月山 勇   | ● 副 S A A | 伊澤 政宏  |
| ● 副 S A A | 矢野 修二  | ● クラブ会報   | 森 永健   |

●クラブテーマ「信頼」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第28号週報 No. 1634 2010年(平成22年) 1月22日 第1634回例会記録 2月1日発行

**司 会** 飯田 泰之 副幹事

**誕生日祝**

中村 眞巳 会員 (1月26日)  
角田 伯雄 会員 (1月28日)  
高田 修 会員 (1月29日)

**点 鐘** 河野 明光 会長

**斉 唱** 「それでこそロータリー」

**四つのテスト** 伊東 英紀 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 成田 武治 様 (ゲストスピーカー)  
竹岡 拓哉 様 (スピーカーアシスタント)

**ビジター紹介** 横浜保土ヶ谷 RC 尾崎 英俊 様



本日〈2月1日〉のプログラム

「神奈川県 R C ・ 神奈川県東 R C 合同賀詞交歓会」

## 入会記念日祝

田口健太郎 会員（2月4日）



## スマイルボックス

伊澤 政宏 副SAA

横浜保土ヶ谷RC 尾崎英俊様

本日はお世話になります。

高田 修君 26回目の結婚記念日を迎える事になりました。前はメモリアルだったので、奥方の希望の韓国へ行きましたが、今回は国内の韓国料理にでも・・・安く済みそうです。

角田伯雄君 結婚記念日祝、ありがとうございます。お蔭様で30年？

田口健太郎君 入会記念ありがとうございます。今年もロータリーを楽しみたいと思います。

河野明光君 ①ここ一週間の気温の変動が激しく、体調を崩しそうです。皆さんもご自愛下さい。②成田様、本日の卓話をよろしくお願ひ致します。③古川先生、お世話になりました。

富居利貞君 こんにちは。

石川正三君 クラブが以前2年間に亘ってその活動を支援した同志社女子大学の学生たちの活動組織『かたつむりの会』。その後もスリランカへ毎年100冊を超す英訳付きの絵本や幼稚園で使う教材をOWOP協会を通じて送ってくれています。そして、この春休みには学生たちが鈴木会長の案内で現地を訪れる予定です。この継続的な国際奉仕が高く評価され、2月5日、文部科学省から助成金10万円が付いた表彰を受けることになりました。『かたつむりの会』は、現在35人の学生たちで運営され、その会長から、この程、『スリランカへの紹介を始め、この活動のきっかけを作って下さったクラブの皆様』に感謝します。』との報告が入りました。

山本 登君 まだ新年会続き。飲めない辛い。

山田正憲君 ①成田様、卓話楽しみにしています。②昨日、今日で温度差10℃以上もあります。お体、ご自愛下さい。

山田富雄君 森永さん、先日はありがとうございました。また、よろしくお願ひします。

雨宮和則君 山本先生、研究事業にご協力下さり、ありがとうございます。

天野公史君 成田先生、本日はお忙しいところありがとうございます。楽しみにしておりました。

白鳥厚夫君 今日の日経に私の家がさらしものになっております。よろしかったらご覧下さい。

脇田いずゞさん 今週の週報の写真ですが、私が作成しました。

伊澤政宏君 2月1日の神奈川クラブとの合同賀詞交歓会、皆様の参加希望します。

## 会長報告

河野 明光 会長

野坂ガバナー、及び青柳国際奉仕委員長の連名でハイチ地震災害義援金に対する協力依頼が、ガバナー事務所より届いております。義援金額に関しましては、「会員一人当たり500円程度」を希望されていますので、当クラブの現行登録人数60名分、30,000円を会員個々からの募金とするか、クラブの奉仕予算より拠出するかを2月度の定例理事会にて議決したいと考えています。

## 幹事報告

山田 正憲 幹事

- ・横浜東RAC 1月第2例会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・2月6日(土)、第4・第5グループのIMが新横浜国際ホテルにて開催されます。実行委員会よりお願ひです。当日はホテル駐車場の収容台数に限りがありますので、お車でのご来場はお控え下さいとのことです。ご協力よろしくお願ひ致します。
- ・次週1月29日(金)の例会は2月1日(月)神奈川RCとの合同賀詞交歓会へ移動例会となります。お間違えないようお願い致します。

2月1日(月) 神奈川RC・神奈川東RC合同賀詞交歓会

点鐘 18:30

場所 ホテルキャメロットジャパン 5F ジュビリーII

## 委員会報告

会員増強委員会 委員長 脇田いずゞ

- ・入会候補者の方がいらっしゃいましたら、当委員会までお知らせ願ひます。ご協力、よろしくお願ひ致します。

## 出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	60名	(49+11)名	
出席会員数	47名	(40+7)名	
出席率	83.93%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	86.21%	前々回補正後	88.89%

1月22日	15件	44,000円
本年度累計		1,495,874円



## 「尽くす心と器量」

国際空手道連盟極真会館 師範 成田 武治 様  
 (紹介者 天野 公史 会員)



この度は神奈川東ロータリークラブ卓話会に御招待頂き甚だ恐縮ではありますが大変名誉な事であり、感謝申し上げます。

武道と、社長道、経営道に少なからず共通点があると思ひ、僅か約二十六年ですが修行を続けています。

武道極真空手で学んできた経験から、「他人の為に尽くす心(ロータリー精神)」を十分に理解され、実行されている皆様にお話しするのも失礼な事ですが、「尽くす心と器量」について極真精神からの観点で語らせて頂きます。

「頭は低く目は高く、口慎んで心広く、孝を原点として、他を益する。君達、親孝行出来ない人間はだめだよ。親孝行出来ない人間は強くなれないよ！」私が極真空手を始め、全日本大会を見に行く度、私が出場する様になってからも毎回言っていたのが極真会館創始者、大山倍達です。当初、親孝行しないと何で強くなれないのか理解出来ませんでした。大山総裁が言うのだから少しでも強くなりたかった私は親孝行を考える様になります。極真精神の「他を益す」「親孝行」親に尽くす事、一番お世話になった身近な人に感謝の意を込めて恩返しをする、それが出来なければ更に他の人に尽くす事など出来ないのではないかと。

極真に限らず使われる言葉に「押忍」があります。私達はこの言葉に尊敬、感謝、忍耐の三つの意味が含まれると教わってきました。この「尊敬、感謝、忍耐」こそが「尽くす心」を育み、「尽くす器量」を拡大させるのではないかと私は考えます。

極真空手では人一倍稽古して強くならなければ尊敬されない、そして強くなれたのなら誰のおかげで強くなれたのか感謝の心を持ち、恩返しを怠らぬ、その中で色々してやったのに裏切られたり、離れられたりがあっても耐える。不平不満より感謝の気持ちを強く持ち、自分が周り、後輩、稽古生にしてあげた事、尽くした事の見返りを期待しない！これには忍耐が必要かも知れません。感謝の気持ちを常に優先する事が出来れば他人に尽くす事も優先出来る。これは自分の生き方に自信がなければ出来ないでしょう。

私は極真修行を続け、師範と言う立場になり今後出来る事は、

親、家族に尽くすことが出来た上で、道場の稽古生に情熱指導と言う形で尽くし、尊敬される人間形成を目指し、それが地域社会、国、世界への貢献と繋がって行く事を願う次第です。

ロータリークラブの「奉仕の理想」を実践されている皆様には及びませんが、私も「尽くす心と器量」を少しでも拡大し「世のため、人のため」になる様、極真精神、押忍の精神を軸に修行を続ける所存ですが、これを機に是非とも皆様に、社長道、経営道の観点からの御指導の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、この機会を頂きました皆様に感謝します。誠に有難うございます。押忍！

## クラブニュース

ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男様より



No. 36 井戸(キャンディ県ハタラリヤツダ村)

253所帯程の村で、この井戸の利用は13所帯、65名程です。そのうち6歳以下の児童は8人おります。



No. 37 井戸(キャンディ県ワツテガマ村)

井戸の受益所帯数は12で、11人の幼児を含む72名がこの井戸の恩恵に預かります。

## ロータリーミニ情報

### 「ロータリアンが見たハイチ大地震後の混乱」

ヒューストン・ロータリー・クラブ会長であるミシェル・ボーリアさんの夢は、いつの日かハイチを訪問し、現地の子供たちの生活改善のためのプロジェクトを行うことでした。

1月12日、そのプロジェクトを行うために一週間の滞在予定で同クラブの一行がポルトープランス空港に到着してから45分後、彼女の夢は一瞬にして悪夢に変わりました。

大地震が襲ったその時、ボーリアさんと5名のヒューストンのロータリアンから成るチームは、孤児院での水プロジェクトを実施するためにハイチの首都に向かっていました。地震は、広範な地域に壊滅的な打撃をもたらしました。

「地震発生の数分後、何千人もの人々が道路にあふれかえり、走ったり、叫んだりしていました。大勢の人々が血まみれで歩いていました」とボーリアさんは振り返ります。「大惨事が起こったのだと、その時わかりました」

200年ぶりの大地震となった今回の地震によって、首都は壊滅状態に陥り、20万人の命が失われ、数百万人が負傷しました。被災者に食糧、水、薬を届けるために、大規模な国際的救援活動が動き出しました。

「その光景、音、匂いは想像を絶するものがありました。決して忘れることは出来ません」と話すのは、チームの一員だったヒューストン・クラブの元会長、ヴィッキー・ブレンティンさんです。「私は、負傷し怯えている子供たちの手を引きながら、助けを乞うその親たちの目を見つめました。その姿が目には焼きついて離れません」

すぐに出国出来なかった一行は、4日間ポルトープランスにとどまり、できる限り人々の助けになろうと努力しました。崩壊した病院を見つけた彼らは、がれきの中から鎮痛剤や抗生剤を集め、けが人たちに配りました。「負傷があまりにひどく、手元にあった薬では十分でないこともありましたが、それでも、誰かが手当てをしてくれていると知るだけで、彼らに希望が与えられると思ったんです」とボーリアさん。「ロータリアンであることをあれほど誇りに感じた瞬間はありません」

1月15日、チームはチャーター機でドミニカ共和国に避難し、翌日、無事ヒューストンに戻りました。

クラブの会員たちといつかハイチに戻って、復興を手伝いたいと、ボーリアさんは語ります。「ロータリアンである私たちは、あのような困難な状況で苦しんでいる人々に手を差し伸べる義務があります」

### 安全な地から大惨事の現場へ

大地震の翌日、ピニョン・ロータリー・クラブ会員のカレブ・ルシアンさんと9人のハイチ人が、被害状況を調べ、被災者を助けるために、136キロ南に離れたピニョンからポルトープランスにやって来ました。

「街は完全に破壊されていました」と、第7020地区（カリブ海諸国）の保健・飢餓追放支援グループ・コーディネーターであるルシ

アンさんは話します。「車で現地へ向かう途中、何百もの遺体を見ました。これほどの命が失われたことが信じられません」

ルシアンさんは、被災者への水と食糧の配給のために、自ら3,500ドルを払いました。また、被災地に住んでいた知り合いのロータリアンの消息を調べたり、120人以上の負傷者をピニョンに避難させるのを助けました。

「悲惨さを感じたり、考えたりする余裕などありませんでした」とルシアンさん。「悲しみはありましたが、とにかく一生懸命に活動し、ロータリアンに救援を呼びかけることに専念しました」

彼は、被災地に救援物資を届けるため、第7020地区のハイチ支援グループと密接に協力しています。同グループは、2年前、ハイチへの財政支援を行うために設置されました。

「今後2～6カ月間、緊急に必要なとされるのは避難所、食糧、そして水です」とルシアンさん。「長期的には、学校、病院、教会といった設備の再建をロータリーが援助していけることを願っています」

記事：Ryan Hyland

国際ロータリー・ニュース：2010年1月20日

## 2010-11年度R I テーマ決定

### 【2010-11年度R I テーマ】

〈英語〉 BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

〈日本語〉 地域を育み、大陸をつなぐ



2010年国際協議会の開会本会議にて、「California, Here I Come」という音楽と共にステージに現れたレイ・クリンギンスミス R I 会長エレクトが、2010-11年R I テーマを「地域を育み、大陸をつなぐ(BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS)」としたことを発表しました。

### 【表紙の写真】

『横浜港の始まり「象の鼻」から大栈橋を望む』

次回《2月5日》の卓話予定

テーマ「Music and Life」

オペラ歌手 ジェフリー・トランブリー 様  
(紹介者 天野 公史 会員)